

公表	事業所における自己評価総括表
----	----------------

○事業所名	塩竈市ひまわり園 児童発達支援ひまわりキッズ		
○保護者評価実施期間	令和6年 12月 1日 ~ 令和6年 12月 25日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	19名	(回答者数) 16名
○従業者評価実施期間	令和7年 1月 6日 ~ 令和7年 1月 24日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数) 7名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 2月 28日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保育所と隣接しているので、健常児との交流ができる。園庭を共有している。	日案を立て、職員同士で共有している。 楽しく過ごせるような工夫をしている。 職員に勉強会の案内をしている。	行事など更に交流の機会を増やしたい。 保護者の参加を促したい。
2	専門職への相談やアドバイスがもらえる。	相談したい内容を事前把握。 内容やアドバイスの共有。 勉強会の実施。	勉強会に参加への呼びかけ。
3	職員数が少なく、報・連・相がしやすい。 未就学・放デイの支援に入るので、利用児の状態を把握しやすい。	何かあればすぐに伝えるようにしている。 職員会議でのケースの共有。 行事の係分担を全体で行っている。	都度話し合うことで連携を取り合っていく。 相談しやすくなるように楽しい空気を作っていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	施設内の環境（居室の狭さ等）	建物の問題なので、事業所、個で解決できるものではない。 個室の少なさ。	スペースを区切り、構造化するなどの工夫はしている。 引越し
2	勉強会や会議に出席しづらい。	当直や土日出勤者の週休の確保のため、ギリギリに人数で支援している。利用者の安全を考えると出せないことが多い。	会議やオンライン出来る場所の確保。 職員の出入りを避ける工夫、協力体制。 他事業所からの応援体制。 勉強会に出た人がみんなに周知
3	職員数が少ななので、抱える事務量が多い。休みにくい。	日々の活動計画・準備・実施などは分担できるが、支援計画作成や行事などをやられる人が限られている。 指導する時間も持ちにくい。	人数が少ないので、全員が兼務で取り組む。 職員配置を考えてもらう。